

第6学年「全国学力・学習状況調査」(平成31年4月18日実施)の結果について

令和元年9月2日
海田町立海田南小学校

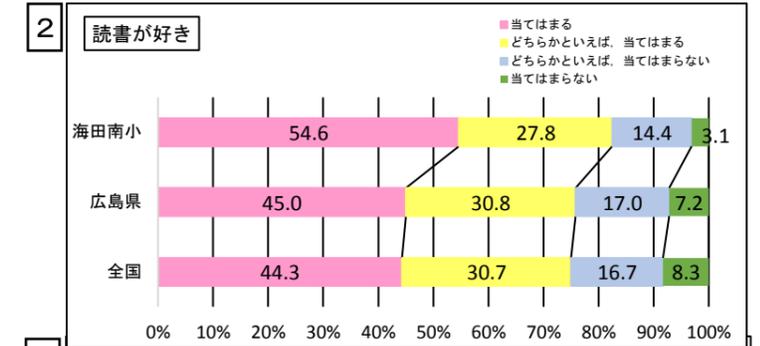
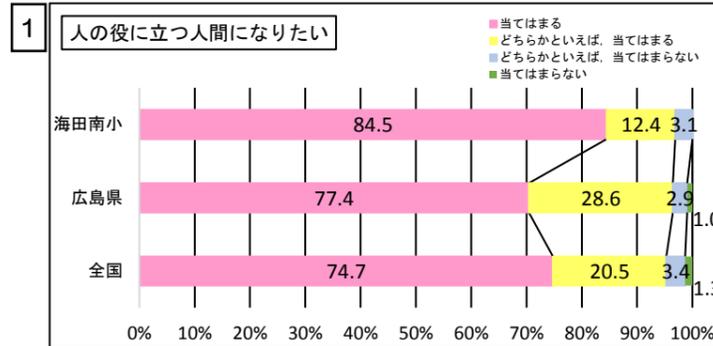
(学習面)

| | 国語 | 算数 |
|------|------|------|
| 海田南小 | 79 | 70 |
| 広島県 | 66 | 68 |
| 全国 | 63.8 | 66.6 |

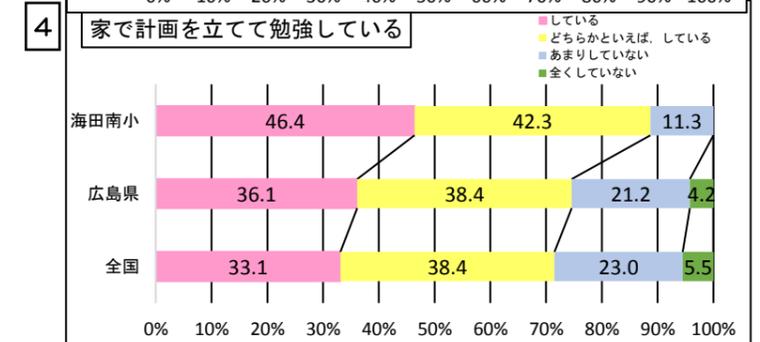
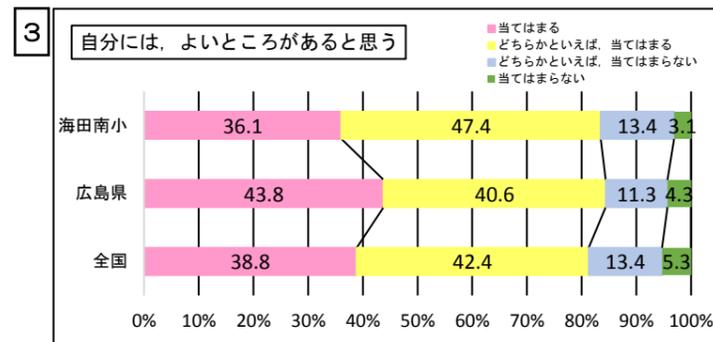
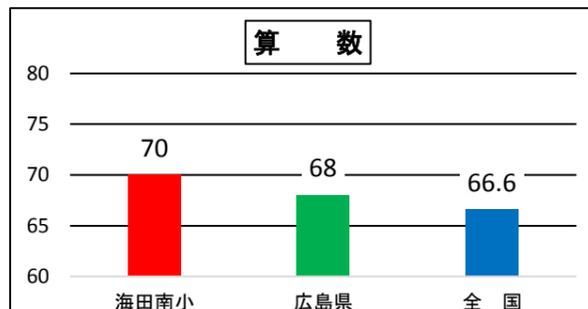
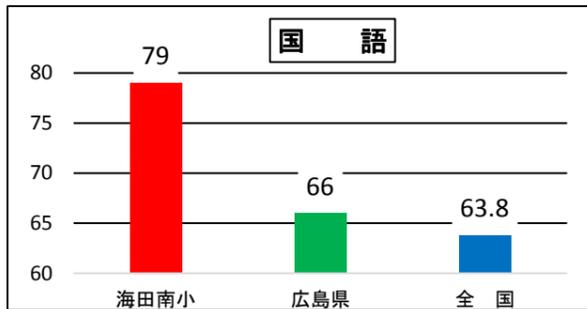
今年度の調査から、基礎問題と活用問題の区別がなくなりました。



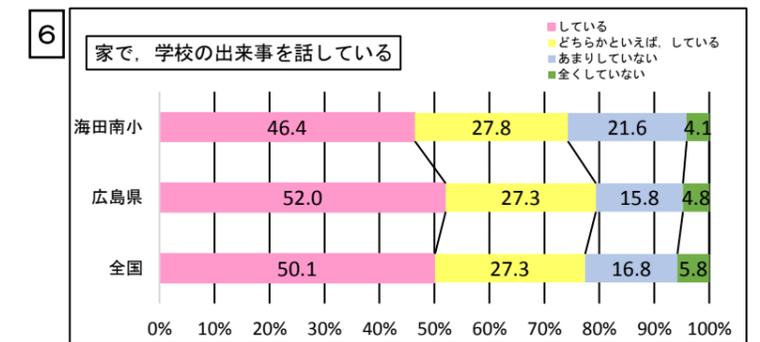
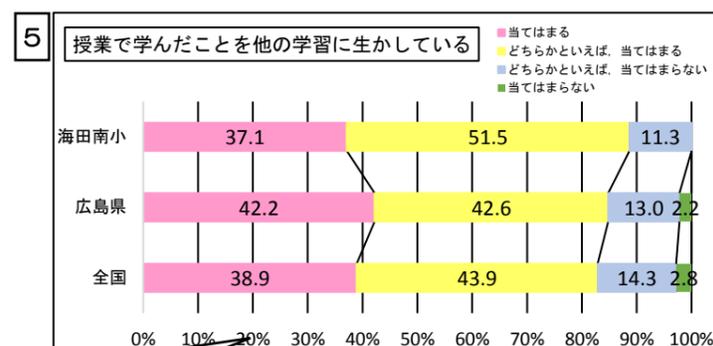
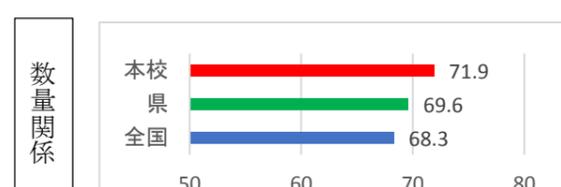
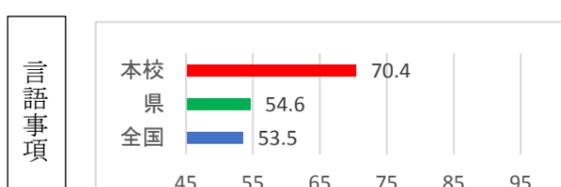
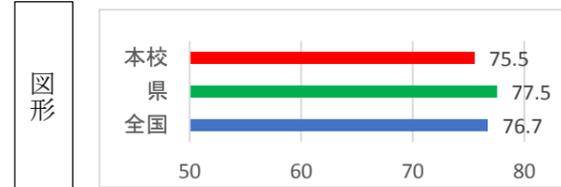
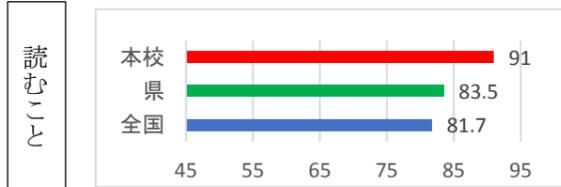
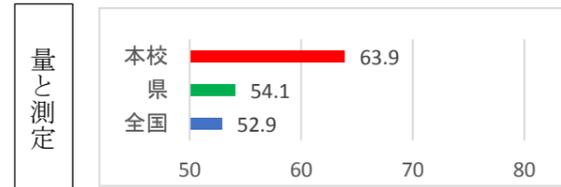
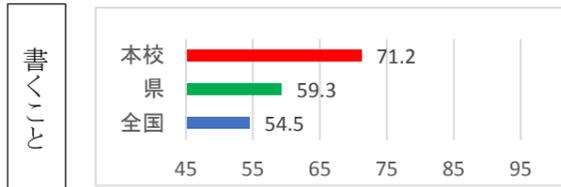
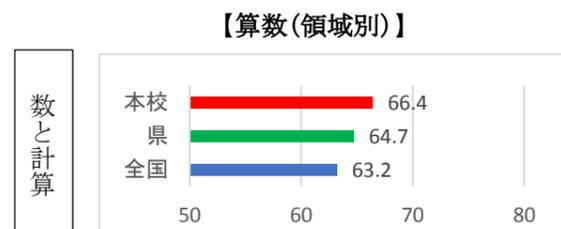
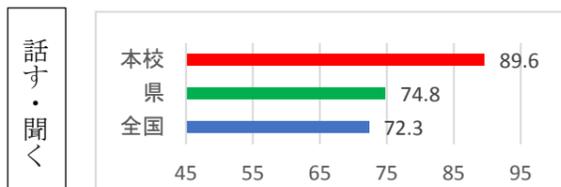
(意識調査)



【今年度の結果】



【国語(領域別)】



5については、平成28年度から始めた「主体的な学び」の授業改善の取組の成果が、少しずつ表れてきています。

黄色の吹き出しは南小の取組のキャッチフレーズです。

【国語】「キーワード」を見付けて

【生活】ほめほめ作戦!!

この結果をふまえて、ご家庭において取り組むことができそうなことについて、お子さんと話し合ってみてください。

【算数】「言葉」と「図」と「式」を関連付けて

| | 国語 | 算数 |
|----|---|---|
| 成果 | <ul style="list-style-type: none"> 文と文との意味のつながりを考えながら接続語を使って内容を書くこと 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること | <ul style="list-style-type: none"> 棒グラフから資料の特徴を読み取り、それらを関連付けて、1人当たりの水の使用量の増減を判断し、判断の理由を言葉や数を用いて説明すること 単位量当たりの大きさを基に、所要時間の求め方と答えを言葉や式で記述すること |
| 課題 | <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くこと 漢字を文の中で正しく使うこと | <ul style="list-style-type: none"> 図形の性質や構成要素を理解し、算数用語を用いて説明すること 除法の性質や式・商の意味を理解し、それらを説明すること |

今後の具体的な取組内容

- 【国語】
 - 自分の意見を理由付けしながら言ったり、振り返りの文章を読み返し、推敲したりする活動を継続的に行う。
 - 3年生以上では、ぐんぐんタイムや新聞タイムにおいて1人ずつ辞書を引く活動を行う。1・2年生では、漢字の学習と文づくりを関連付けて行う。
- 【算数】
 - 図形を指し示しながら、算数用語を用いて説明させたり、ノートに書かせたりする。
 - 式の中の数字の意味を明確にするために、線分図をかかせる。
- 【生活】
 - 行事や学級活動(朝の会・帰りの会)、体験活動等のあらゆる機会を通して、いいところ見付けを行い、お互いのよさを認め合う。